



小中学生による建設工事風景図画作品

常陸大宮市立第二中学校／金澤 光祐さんの作品

△ 主な内容 △

- ▼ 関東地方整備局と意見交換会を開催
- ▼ 建設雇用改善推進集会を開催
- ▼ 秋山光伯副会長が旭日小綬章を受章
- ▼ 就職応援サイトへの掲載を

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 国土強靱化予算の継続を

## 関東整備局・県土木部と意見交換

本会は11月11日、国土交通省関東地方整備局、茨城県土木部との意見交換会を水戸市の茨城県市町村会館で開催しました。本会からは国に対しまして公共事業予算の安定的・継続的な確保を要望しましたほか、防災・減災、国土強靱化対策の取り組みと今後の見通しについて質問。さらに週休2日制の定着やBIM/CIM運用に関する展望、工事成績評価における女性技術者・若手技術者の加点について意見を交わしました。



土井関東地方  
整備局長



伊藤  
県土木部長



石津  
茨建協会長



活発に意見を交わしました

あいさつで関東整備局の土井弘次局長は「国土強靱化の流れを決して止めることなく、着実に防災、減災の取り組みを進めていく必要がある」と強調。10日に自民党による強靱化に関わる緊急決議があったことに触れ、「公共事業を進めていく必要性や、それを支える建設業の皆さまの思いが届いている」と話しました。

伊藤高県土木部長は「県内の公共事業予算の上半期執行率は、昨年度と比べて2割増しで400億円増。引き続きご協力を」と報告。また国に、より一層の県内業者への発注を求めました。

本会の石津健光会長は「担い手確保や働き方改革への対応など従来からの課題に加え、コロナウイルスなど新しい課題にも直面している。これに加え、菅政権が進める行政のデジタル化やBIM/CIMへの対応などにも早急に取り組まなければならない。国、県、関係機関との連携を図り、課題解決に向け積極的に取り組み、地域の守り手という使命を果たしてまいりたい」と述べました。

その後、国が本年度予算の概要や働き方改革・担い手確保への取り組み、i-Construction、建設キャリアアップシステムなどについて説明。

続いて本会から①協会の活動（建設未来協議会、建女ひばり会）②災害時の活動（台風15号、令和元年台風19号）③働き方改革に向けた取り組み（公共工事一斉休工期）④担い手確保に向けた取り組み（建設フェスタ、親子見学会、体験学習、インターンシップ、合同企業説明会）⑤イメージアップに向けた取り組み（建設フォトコンテスト）—について報告しました。

意見交換は、本会が用意したテーマに国が回答する形式で行われました（詳細は次ページ）。

その他の議題では、本会が災害復旧時の優先順位について、災害協定は市町村と各地域の建設業団体のほかに国交省の出先事務所が別途業者と締結しているため、復旧箇所の優先順位が不明確で、復旧に当たれない地域が生じてしまうことがあると説明。国では「関係者が一体となった連携体制の構築は重要」と応じました。

## 週休2日補正係数の引き上げ要望 女性・若手活用で工事成績加点を

意見交換会の  
内容

### 公共事業予算の安定的・継続的な確保と防災・減災、国土強靱化対策の取り組みと今後の見通し

#### 【茨建協】

地域建設業が地域の安全・安心を守るという社会的使命を果たしていくためには、公共事業予算の安定的かつ持続的な確保が必要である。来年度予算の茨城県への配分に特段の配慮をお願いしたい。防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策は延長が必要と思われる。

#### 【関東整備局】

防災・減災、老朽化対策など諸課題に対応できるよう、必要な予算を確保するよう努めていく。令和2年度当初予算までとなっている3か年の緊急対策後も、中長期的視点に立って計画的に取り組むため、国土強靱化基本計画に基づき、必要・十分な予算を確保できるよう努めていく。

### 働き方改革（週休2日制の定着）

#### 【茨建協】

週休2日制適用工事の現場管理費の補正係数について、天候や日給月給制、民間工事での理解を得るため、補正係数のさらなる拡大をお願いしたい。

#### 【関東整備局】

令和2年度は週休2日の取り組みに応じた共通仮設費と現場管理費の補正率を引き上げた。補正係数の引き上げは現在の適用工事を通じ検討していくが、全国的な内容となるため本省に伝える。

### BIM/CIM運用の今後の展望

#### 【茨建協】

国交省では令和5年度までに小規模を除く全公共工事にBIM/CIMを原則適用するとされており、今後の具体的方策をご教示願いたい。

BIM/CIM活用の提案は総合評価や工事成績評定で加点対象となるのか。導入に当たっての国交省独自の新たな助成金、補助金の創設をお願いしたい。

#### 【関東整備局】

来年4月に関東技術事務所に「関東i-Construction人材育成センター（仮称）」を設置する。補助金の創設は本省に伝える。

BIM/CIM活用と同様の概念で運用しているICTは全面活用で総合評価や工事成績評定で加点評価を行っている。

### 工事成績評定における女性技術者・若手技術者の加点

#### 【茨建協】

女性技術者・若手技術者の登用を促すモデル工事を採用していただいているが、取り組みを促進するため、モデル工事以外でも女性や若手技術者の配置実績を工事成績評定の項目に追加していただきたい。

#### 【関東整備局】

建設業における働き方改革を推進する観点から、若手技術者や女性技術者の登用など、担い手確保に向けた取り組みが図られた場合については、工事の成績評定において加点評価することになっている。

# 魅力ある職場づくりを推進

## 建設雇用改善推進集会を開催

本会は11月4日、令和2年度の建設雇用改善推進集会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。雇用改善に尽力した企業の表彰や優秀標語表彰、講話などを行い、雇用改善を推進していくことを確認しました。



石津会長

推進集会は、事業主の雇用改善の気運を高め、建設業に対する社会の認識と理解を深めてもらうために開催。

あいさつで石津健光会長は、建設産業を現場で支える技術と技能に優れた人材が生涯を託せる建設業になるため「建設業を正しく理解してもらう活動と、若い人材の入職を図り、定着させることが喫緊の課題」と強調。そのため「若年者と女性に魅力ある職場づくりへの取り組みや、働き方改革への取り組みをさらに推進していく必要がある。本会の活動にご理解とご支援をお願いしたい」と念願しました。

来賓の茨城労働局職業安定部の小川孝昭部長は「より一層、雇用改善を推進し、魅力ある職場



雇用改善に尽力した事業所などを表彰しました



雇用改善の推進を確認しました



小川茨城労働局  
職業安定部長



飯塚県産業  
戦略部次長



講師の渋澤氏

づくりに取り組み、次世代を担う労働者を確保することが大切になる」と祝辞。

茨城県産業戦略部の飯塚一政次長は「労働環境のなお一層の改善や魅力ある職場づくりへ積極的な取り組みを」と望みました。

続いて建設雇用改善優良事業所知事表彰、雇用改善に関する優秀標語表彰、建設業退職金共済制度普及協力者表彰などを行いました。

第2部では、シブサワ・アンド・カンパニー(株)代表取締役CEOの渋澤健(けん)氏が「渋沢栄一の『論語と算盤』により～未来を拓く～」について講話。「論語と算盤は近いもの」との渋沢栄一氏の言葉に触れ、「正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができない」と紹介しました。

**建設雇用改善推進集会受賞者（敬称略）****【茨城県知事表彰（建設雇用改善優良事業所）】**

◆高橋建設(株)（鉾田支部）

**【茨城県建設業協会会長表彰（雇用改善に関する標語入選者）】**

◆最優秀賞＝角屋秀樹（株豊島工務店）

「創意と工夫で効率アップ 定着させよう

4週8休 魅力あふれる建設業」

◆優秀賞＝片寄健太（株関根工務店）、箱崎滋（株梅原工務店）

◆優良賞＝嶋田政好（水戸土建工業(株)）、伊集院桃子（松尾建設(株)）、鈴木直輝（株高田工務店）

◆佳作＝飯田則子（水戸土建工業(株)）、米川貴（株梅原工務店）、白川幸暉（常総開発工業(株)）、菊田大暉（常総開発工業(株)）、佐々木華（松浦建設(株)）、武笠浩二（大坂建鋼(株)）

**【勤労者退職金共済機構理事長表彰****（建設業退職金共済制度普及協力者）】**

◆増川建設(株)（竜ヶ崎支部）、(株)斉藤建設（土浦支部）

**小中学生が描いた建設現場  
優秀作品を表彰**

本会では県内の小中学生から、夏休み期間中に建設現場の風景を描いた図画作品を募集。小学校は32校から187点、中学校は10校から56点の応募があり、優れた作品を表彰しました。

どの作品も建設現場が生き生きと描かれており、建設業の魅力を伝える図画となっています。

入選した55作品につきましては、11月30日（月）午後1時から12月21日（月）正午まで、水戸市笠原町の茨城県庁2階の県民情報センター県政広報コーナーに展示します。ご覧ください。

**【最優秀賞】**

◆中学校の部＝根本怜さん（水戸市立内原中学校2年）

◆小学校の部＝内藤心温さん（大洗町立大洗小学校3年）、若松花歩さん（水戸市立三の丸小学校4年）、重永旭翔さん（つくば市立東小学校5年）、霜田湊真さん（筑西市立竹島小学校6年）

**秋山光伯副会長が旭日小綬章 おめでとうございます**

令和2年秋の叙勲で、本会副会長で高萩支部長の秋山光伯氏が旭日小綬章の栄に浴されました。

まことにおめでとうございます。ますますのご活躍を祈念申し上げます。

秋山氏は昭和22年7月21日生まれの73歳。日立市在住。

日本大学理工学部を卒業後、昭和46年に(株)秋山工務店に入社。昭和61年から代表取締役社長を務めています。

「郷土づくりに感謝を込めて」を経営理念として、災害・環境に配慮した質の高い設計や施工で、県を代表する建設会社としての地位を築かれました。

本会では平成10年5月から理事、平成14年5月から常任理事、平成30年5月から副会長。高

**秋山副会長の話**

「このたびの受章は、地元建設業者や会員の皆さまのご協力、そして両親のご指導のおかげだと思っています。これからも業界や地域の発展のために、皆で同じ方向を向いて取り組んでまいります」

萩支部では平成30年4月から支部長を務め、本会の発展に寄与されています。

日立市建設業協会では平成15年5月から平成25年5月まで会長。現在は顧問を務めています。

日立市商工会議所では平成22年に会頭に就任。東日本大震災からの復興に尽力し、小規模企業の経営改善、中小企業の販路拡大にも努めています。

## 入札制度や施工体制を研修

経営者研修会を開催



本会と茨城県土木部は令和2年度の建設業経営者研修会を10月3日から23日まで県内5会場で開き、多くの経営者などが研修しました。研修内容は①入札・契約制度の改善②適正な下請契約の締結③適正な施工体制の確保④令和3・4年度県建設工事入札参加資格審査（格付け）一など。

## 件数、金額とも増加

4～9月の県内公共工事

東日本建設業保証(株)茨城支店がまとめた前払金保証実績から見た令和2年度上半期（4月～9月）の県内の公共工事動向（施工場所が県内）によりますと、件数は3,838件で前年同期と比べて5.4%増、請負金額は2,400億3,500万円で同19.9%増と増加しました。発注者別では、国、独立行政法人等、茨城県、市町村で件数、請負金額とも増加しました。

県内の公共工事保証実績（2020年4月～9月）（金額単位：百万円）

項目	20年度		19年度		対前年度増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	265	39,368	211	26,157	25.6%	50.5%
独立行政法人等	76	35,322	60	8,608	26.7%	310.3%
県	1,599	61,349	1,456	49,314	9.8%	24.4%
市町村	1,789	87,481	1,777	83,352	0.7%	5.0%
地方公社	24	603	19	915	26.3%	-34.1%
その他	85	15,909	118	31,832	-28.0%	-50.0%
合計	3,838	240,035	3,641	200,181	5.4%	19.9%

水戸支部  
活動報告

## 働き方改革で セミナー



水戸支部（下田德行支部長）は水戸市建設業協同組合と共に10月30日、働き方改革に関する講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。(株)建設経営サービス提携講師の廣津榮三郎氏が職場環境改善と労働条件の改善、人材の確保と定着、生産性向上に着目し、若手人材の確保や定着、育成の効果的な方法を紹介しました。

高萩支部  
活動報告

## 総合評価や 安全管理研修



高萩支部（秋山光伯支部長）は11月4日、茨城県の総合評価方式の改定や現場の安全管理などに関する講習会を支部会館で開催しました。県高萩工事事務所が講師を務め、総合評価方式の変更点について説明しましたほか、工事事故の発生状況や安全対策を解説。さらに県の情報共有システムの概要、使用方法について研修しました。

銚田支部  
活動報告

## 災害時の 連絡体制研修



銚田支部（羽生義隆支部長）は10月2日、茨城県銚田工事事務所と共に異常気象時・地震等待機体制配備時および休日夜間の異常発生時等の情報連絡方法の講習会を銚田工事事務所で行いました。地震発生時等のパトロールの結果報告がファクスと情報共有化システムからWebex Teamに統一されたことなどを研修しました。

潮来支部  
活動報告

## 事故防止対策を 研修



潮来支部（松崎里志支部長）は10月9日、安全管理研修会を茨城県潮来土木事務所で開催し、工事現場・施工における事故防止策などの理解を深めました。同事務所の照沼和之検査監が土木部発注工事の事故発生状況を報告。職長不在時における役割分担などを説明。同支部の郡司誠監事が路上工事看板による安全対策を呼び掛けました。

土浦支部  
活動報告

## 献血活動に 協力



土浦支部（小林伸行支部長）は10月21日と29日、献血ボランティア活動として支部会館前に献血車を配置し、110人が貴重な血液を提供しました。小林支部長は「新型コロナウイルスの影響などで輸血が不足していると聞いており、会員一丸となって献血に協力していく。今後も活動は継続していきたい」と話しています。

境支部  
活動報告

## 総合評価や ドローン研修



境支部（新井孝支部長）は10月9日、茨城県境工事事務所の協力を得て茨城県土木部の総合評価方式の実施方針、ドローンの基礎知識や操作方法などについて研修しました。改正された総合評価方式のポイント、ドローンの基礎知識と基本操作方法などについて説明を受け、境町民体育館でドローン操作の練習を行いました。

## 就職応援サイトに掲載を

企業情報を若年者に発信！

本会は、会員企業の求人情報やインターンシップ受け入れ情報などを発信し、建設業への若年者の入職を促進するため、WEBサイト「いばらき建設業 就職応援サイト」を運営しています。

サイトでは、掲載企業一覧はもとより、地域や職種、新卒・中途採用区分などの条件検索により、就職希望者の意向に沿った企業情報を提供できます。またインターンシップ受け入れ情報や企業情報を掲載することで、より幅広い層へアピールすることができます。

これまでも多くの問い合わせなどが寄せられています。会員の皆様には、就職応援サイトへの積極的



な掲載をお願いいたします。掲載費用は無料です。

入力方法などのお問い合わせは、本部業務課（電話 029-221-5126）まで。

サイトは協会ホームページに掲載しています。

<https://ibakenjob.com/>

## 建女ひばり会が ICT研修会



本会の女性部会「建女ひばり会」（柳瀬香織会長）は10月15日、重機などの試乗体験などを含めたICT施工講習会を開催しました。

午前中は水戸市の茨城県建設技術センターでi-Constructionの概要などの座学を行い、午後からは日立建機ICTデモサイト（ひたちなか市）でICT建機の試乗を行いました。

柳瀬会長は「建女ひばり会の視点で考えて行動していくことが、将来の建設業界の発展に不可欠と考えています」と話しています。

## 会員の動向

### 〈代表者変更〉

- ▽水戸支部  
（株）水戸グリーンサービス 天貝 洋 → 天貝 綱太
- ▽大子支部  
（有）佐藤工務店 佐藤 禮子 → 佐藤 哲也
- ▽筑西支部  
（株）川田建材工業 川田 友正 → 川田 秀樹

### 〈住所変更〉

- ▽太田支部  
常陸建設(株)  
旧住所 〒313-0012 常陸太田市三才町620  
新住所 〒313-0004 常陸太田市馬場町1155

## ちょっと一言



昨年のこの時期は、台風被害への対応で大変だったことを思い出します。幸い今年には県内で大きな自然災害はありませんが、全国各地で災害に見舞われました。新型コロナウイルス対策も重要ですが、国土強靱化対策も重要だと改めて思います。 (K)